

# 特集

やまぐち  
産業振興財団  
Article of  
YIPF Division  
どきゅ  
めんと

即戦力をマッチングする

## プロフェッショナル 人材戦略拠点

プロの人材を探して企業と繋ぐそれがプロフェッショナル人材戦略拠点(以下プロ人)

プロフェッショナル人材事業では中小企業が必要とする人材をマッチングすることで、地域経済に新たな付加価値と人の流れを生み出すことを目的としている。山口県のプロ人には、銀行OB、社労士の資格を持つコーディネーターなど、多彩な人材が所属しているが、特に金融機関から現役出向を受け入れており、金融機関との強固な連携により、必要とする人材をマッチングしている。「ヒアリングをすることで、企業が気付いていない課題から見つけていくことを心がけている」と話すのは、プロ人の加藤統括部長。「中小企業の社長は、一人何役もこなし、一人分の人件費を出すことさえ厳しい企業もある。そんな企業が一人から人を育てるのは非常に難しい。しかし、企業成長のためには攻めの経営は必要不可欠。そこで活用していただきたいのが、我々の事業です。」

### 副業・兼業型の支援制度

現在、厚労省では「働き方改革実行計画」を策定し、副業・兼業の普及促進を図っている。プロ人でも中小企業の成長支援の観点から、副業・兼業を活用した課題解決に力を入れている。また、首都圏等で働くプロとマッチングすることで、関係人口を増やす狙いもあるという。



企業に必要な人材を探すには、企業が抱える課題を見つけなければならぬ。その重要な役割を果たしているのが現役出向三名だ。企業に寄り添い支援しているからこそ、彼らは企業の生の声が聞ける。「中小企業には即戦力が必要。我々はプロの人材という宝探しのお手伝いをしていく」と語るのは山口銀行から出向している押川担当部長。プロの人材と企業を繋ぐことで、思わぬ化学変化が起きることもあるそうだ。「都市部の優秀な人材を小規模事業者でも気軽に利用できるのがこの制度」と話すのは西中国信金の清水担当部長。コロナにより、現場感覚を忘れたくないと応募する優秀な人材は多いとい

う。また、中小企業の悩み・課題の多くは人材だ。西京銀行の森山担当部長は「一人に関してかゆいところに手が届く、孫の手になりたい。」と熱く語る。プロの知恵を借りて課題解決できるのがこの副業・兼業型の人材活用だ。もちろん、就業型の制度もある。加藤統括部長は「企業の実況にあわせて適切な制度を用いたい。まずは気軽に相談してほしい」と語る。

副業・兼業の理解を深めるため、3月には2回のセミナーとマッチングに向けた相談会も開催する。セミナーや相談会の詳細については、プロ人のホームページへ。



Information 賛助会員についてご案内します。

## 賛助会員へのご加入ありがとうございました！

令和3年度、当財団賛助会員にご加入いただきました企業の皆様、誠にありがとうございました。賛助会費につきましては、ご賛同いただいた趣旨に基づき、セミナー等の実施及び県内中小企業者に対する各種支援事業の実施等に有効・適切に活用し、本県の産業振興発展のための業務を積極的に推進していきます。来年度以降も多くの方のご加入、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

賛助会員ページ

